儀、御使御苦勞と令、察申候。 披露|候哉、無,御心元,候。御納得所,仰候。將亦依,不會之 約等無,所詮,候歟。前々此旨具御使者へ理見申候。無,御 庄下行過分ニ詰,算用,候。利潤ニ被,成候ハヾ、此方之失 ハ年貢一向不」及,沙汰,候處ニ、長々御逗留候へば、在

本越前守方可」有。御披露一候。目出季、期,來年一候。恐々謹言。 略,之通、已前條々以,一書,令,申候儘、不,能,巨細,候。獨山 付分覽候。 惣別當庄之儀、 神慮之御事候間、於|拙者|無|疎(達ヵ) 名之事者、年々一村水入之在所、皆不作現形候へ共、別而申 方之儀者雖,無足哉候、御懇示承候之條如,此二候。殊犬丸方之儀者雖,無足哉候、御懇示承候之條如,此二候。殊犬丸 方.捧狀申上候。當年之儀も、 損 觅 曳 分過分之斷候間、此 丸名之分二運上候。委細之段、庄內之百姓等如,例年,從,双 金津庄御公用錢、都合四拾七貫文渡申候。此內四貫文者大 十二月八日 在判

參御返報

(第二通以下年次不詳といへども、 金津庄公用のと

> 改易す。 五月十日。 とに係るを以てとゝに之を合叙す。) 大口雅善、 河北郡岩方村の名主職を

【名主職補任狀案】

二三九

補任 合壹名者 岩方村藤木散田名之事 藤岩主職號

帝,之旨被"仰出,候也。仍爲,後證,補任狀如,件。 衛門尉綏怠之上者、無。他之競望、永代梁盛可。令、全領知。 答、剩本所無爲之儀雖、有,御口入、不、致、承,引條々、七郎左 坊依被□□、可、□,御糺明,之由被,仰付,之處、不、及。一問一 右件名田者、一度所被補,任千田七郎左衛門尉也。雖然藤

享祿寅年五月十日

せりの 九月二日官を辭して加賀に下向し、二年にも尚在國 (公卿補任に據れば、權大納言中山康親は、享祿元年

を補任す。 五月十三日。 大口雅善、 河北郡木越村の名主職

【名主職補任狀案】

補任 木越村案主名三分二之事

名主職 號光琳寺

怠,可,有,其沙汰,者也。仍補任狀如,件。 右於,彼名職,者、(主脫力) 如,先規,御年貢米錢御服以下諸役、無,懈

大口加賀守

を補任す。 七月廿一日。 享祿寅年五月十三日 大口雅善、 河北郡岩方村の名主職 在判

【名主補任狀案】

判

補任 岩方村圓性半名之事

名主職 執行王

享

祿

三 年

右於"彼名職"者、 怠,可,有,其沙汰,者也。仍補任狀如,件。 如"先規」御年貢米錢御服以下諸役、 無解

大口加賀守

享禄參寅年七月廿一日

在判

を補任す。 九月廿八月。 大口雅善、 河北郡岩方村の名主職

【名主補任狀案】

補任 岩方村乃太名別相田之事

合壹段者

別而余田二相替、末代無,相違,可、令,知行,者也。仍狀如,件。 右件下地者、爲,別相田,買得之由被,聞食,候畢。然者無相 遠,可,令,知行,候。殊寄進之田地、爲,寺領,之由申上之間、

大口加賀守

享祿參年九月廿八日

を補任す。 十月十一日。 大口雅善、 河北郡岩方村の名主職